

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 こどもプラス豊見城教室4号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	0	・室内や庭での活動に分けるなど工夫して活動しています。	
	2	職員の配置数は適切である	2	2	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	5	1	・段差のある個所があるため声掛けを行っています。	・死角を作らないよう衝立を設置したり、活動中に職員間で意識できるよう声掛けを行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	0	・朝礼や終礼の際に職員間で共有しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	・ホームページを利用し公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	1	・毎月こどもプラスホールディングス本部が実施する動画研修を受講しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	・モニタリングや担当者会議で得た情報を計画書に反映しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0		・運動遊びの担当が考案している。今後はミーティングの際に共有しながら実施するよう努めます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	0	・利用児童のニーズに合わせたプログラムを考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	0		・長期休暇等長い活動時間では制作など全体で行える活動を検討していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0	・朝のミーティングで共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	0	・保護者からの共有事項や児童の気になる出来事を共有しています。	・送迎などの理由で全員共有できない日もあるので、そのような時には翌日のミーティングで共有していきます。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	0	・定期的にモニタリングを行い情報共有しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	・児童発達支援管理責任者や関りのある職員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0	・各学校の時間割や年間行事予定の確認を行っています。またお迎えの際に必要なに応じて担任の先生と情報交換を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	1	・対象児童がいません。	・必要な児童が在籍した際は連携体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	1		・対象児がいる場合は会議などに参加し情報共有を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	2	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	1	・地域のかさぐるま連絡協議会に参加しています。	・業務調整を行い、引き続き参加できるよう調整を行いたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	・送迎時に共有しています。	・仕事などの理由で会えない保護者の方にはLINEにて報告や確認を行います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	2		・ペアトレを受講している職員が複数いるため、職員間で技法を伝達し、送迎時に保護者に伝えるようにします。	
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0	・利用契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	5		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		・ご意見があった際には迅速な対応に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	0	・お便りを作成し毎月発行しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
仕 等	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	・個人情報が記載された書類はシュレッダーを使用し処分しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	・会話が苦手な児童に対して意思確認を行うため写真やカードを使用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	6		
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	0	・マニュアルを作成し保管しています。	・利用契約時に保護者の方に説明を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	・年2回の避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	3	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	・ヒヤリハットがあった際は職員で共有しています。	